平成29年度指定管理者評価シート

所管課：東部市民サービスセンター

施設名称	明徳地区コミュニティセンター	指定管理者名称	明徳地区コミュニティセンター管理運営委員会
指定期間	平成25年 4月 ～ 平成30年 3月	評価対象期間	平成29年 4月 ～ 平成30年 3月

	利用者数	収入(A)	支出(B)	収支額(A－B)
平成 27 年度	45,465 人	円	円	円
平成 28 年度	44,050 人	円	円	円
平成 29 年度	39,993 人	5,264,156 円	5,253,143 円	11,013 円

評価項目			評価
1 市民の平等な利用の確保			S
	①平等な利用確保	・不当な利用制限や特定の利用者の優遇を行っていない	A
		・個々のサービスについて、対応者による格差は生じていない	S
2 公の施設の設置目的の効果的な達成			A
	①法令等の遵守	・条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っている	A
	②地域振興への貢献	・地域関係機関、ボランティア等との連携が図られている	S
		・地域の特性を活かした自主事業を実施している	A
	③広報活動の実施	・施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っている	S
	④施設の利用促進	・施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っている	A
	⑤サービスの向上	・利用者に対するサービス向上の取組がなされている	A
3 効率的な管理			A
	①施設・備品管理	・建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されている	A
		・備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われている	A
		・市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれている	S
	②環境への配慮	・電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいる	A.
4 適正かつ確実な管理を行う能力			A.
	①適正な人員配置	・施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われている	A.
	②接遇・研修・苦情対策	・利用者に対する職員の接遇、マナーは適切である	S
		・職員の資質の向上のため、研修等を行っている	A
		・アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っている	A.
	③安全管理・危機管理	・事故防止のための取組を行っている	A
		・事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されている	A.
		・マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っている	A..
	④個人情報の保護	・個人情報保護の重要性を認識し、適正な取り扱いが図られている	A
	⑤収支状況	・収支計画に基づいた適切な執行を行っている	A
		・文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っている	A
5 その他【 】			
		・	
		・	
		・	
総合評価			A

評価に係る特記事項

1については、利用基準に沿って運営されており、利用者アンケートの結果も「満足・やや満足」が 99%と、十分な対応をしていると 考える。
2については、自主事業の積極的な実施や、広報紙の発行による地域への情報発信、施設開放日の定期的実施による利用促進などが図られており、施設設置の目的達成に良く取り組んでいる。また、地域団体、利用者団体との連携も図られており、今後更に活動が充実していくものと期待できる。
3については、スタッフ全員の意識も十分であり、利用者にも十分な配慮がみられ、適切に管理されていると考えられる。
4については、スタッフの配置も適正で、定例会議や研修の開催などによる資質の向上にも積極的に取り組んでいる。また、収支文書等も適正に処理されており、管理も十分に行われていると判断した。
以上のことから、当該施設については、大変優れた内容で適切な指定管理がなされているものと評価する。今後も住民との協力 関係を維持しながら、地域活性化のため、地域コミュニティの拠点として、安定的な施設運営に取り組んでいただきたい。